

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

討議年月日: 令和2年 5 月 27 日

公表: 令和2年 5 月 29 日

事業所名 放課後等デイサービス ゆいまーる

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3		活動プログラムにより個々に合わせて人数も分けて活動を行っている。	
	2	職員の配置数は適切である	3		部屋が分かれているため、適切な配置を声掛けして行っている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		3	フラットになるようにマット等を引いている。	一回部分に手すり等がない為設置も検討していく。また、角や柱に転倒しても和らげるようにコーナガードやクッションを設置していく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3		活動前、後にミーティングを行い、日々のPDCAを意識して活動を行っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3			頂いたアンケートを把握して、しっかりと業務改善に繋げていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3			今年からHPとともに評価表を公表していきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		3		第3者委員会等は置いていない為、今後検討していく。
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3		内部、外部の研修を行い、参加している。		
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3		契約時に統一したアセスメントシートを活用して、半年ごとにヒアリングして更新している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3		統一されたアセスメントシートを活用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	3		ミーティングで話し合い活動の意見を出し合っています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3		新しい運動器具や、工作の取り組みを取り入れて活動を行っています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3			外出予定がキャンセルになってしまった場合の代替案も複数出していけば、とっさの雨が降ったりした際の活動も取り組みやすくなる。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3		保護者の意向のもとヒアリングを行い計画書を作成している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3		活動リーダーを決めて、日々活動前にミーティングを行い、役割分担を行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3		活動後、ミーティングを行い日々の記録を日報に記録している。	今後は、職員全体に情報共有できるように(パートも含む)ノートを活用して支援内容などを周知していく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3			日々の記録は取っているが、皆に分かりやすく共有できるように明確に記録を取っていく。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3		半年毎に家族の意向に伴いモニタリングを行い見直しを図っている。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	3		放課後等デイサービスのガイドラインに沿って支援を行なっています。		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3		担当者会議が開かれれば児童発達支援管理責任者、現場に出て支援に関わっている児童指導員が参加していく。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	3		保護者からの情報が一番大きいので、今後学校とも連絡調整を密にとり、支援に向けて対応していく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3		現在医療的ケアが必要なお子様はいらっしゃらないが、かかりつけの病院等の情報を頂き、必要に応じて行えるように体制を整えていく。(提携している病院等もあり)
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	保護者の同意のもと、各関係機関に連絡して情報を頂いている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3		現在卒業生がいないが、必要に応じて、情報共有を行っていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	定期的研修に参加している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3		現在、交流を行っていないが、体制を整えば、イベント等を開催、または、福祉産業フェスタへの参加等、行っていく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3		今後、必要に応じて参加していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3	連絡ノートや、送迎時のフィードバック等、コミュニケーションが取れるようにしている。	引き続き家族との情報共有を密にして、お子様の課題に取り組んでいく。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている	3		現在、ペアレントトレーニングの希望は頂いていないが、家族からの希望があれば、必要に応じて支援していく。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	契約時、説明を行っている。また随時、質問等に応じています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	随時、対応して、必要であれば専門機関等への促しや連携を取っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3		要望、必要性があれば希望に応じて対応していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3	苦情窓口を置き、契約時に説明を行っています。	苦情、相談等あれば、迅速に対応して、より体制を整えていく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	毎月、スケジュールや活動写真掲載のゆいまーる通信を発行している。	今後はHPも活用して情報を発信していきます。
	35	個人情報に十分注意している	3	個人情報同意書を頂き、日々の対応でも注意して活動を行い対応している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3	状況に応じて、また家族の要望に応じて柔軟に対応している。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3		現在イベント等を行っていないが、体制を整えば検討していく。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		3		口頭での説明では行っているが、わかりやすいように、事業所掲示板や通信やHP等に掲載し、情報を周知していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		3		定期的に、開催し通信やHPに情報を発信していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3		定期的に研修に参加している。	研修で得た情報を、職員全体に周知できるように、事業所内研修も引き続き行っていく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		3	契約時に身体拘束について、丁寧に説明している。	契約時に説明は行っているが、契約書に記載はしていない為、今後記載していきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		3	契約時にアセスメントして情報を頂いている。	アレルギー一覧表を作成しているが、職員全体に周知できるようにしていく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		3		口頭で、ヒヤリハットの説明はして言っているが、事例集を作成して職員全体がわかりやすいようにする。